

渡田山王町地区の【防災まちづくり宣言】

渡田山王町をより安全で住みよいまちにしていくために、まちぐるみで取り組むことで、共につながる個々の取組をまとめました。渡田山王町地区の皆さんで実現していきます！

●防災まちづくり宣言の目的
皆さんで取り組むことで…

発災時の
被害を
減らせる

被害の
拡大を防ぐ
応急対応が
しやすくなる

助けが必要な
人を減らして
活動できる人
を増やせる

このまちに住むみなさんで普段から実践していくこと

きっかけ（タイミング）に合わせて実践していくこと

安全な 家づくり

自宅が古い場合は、建物の安全性を調べる耐震診断を受けます！

助成あり 昭和 56 年以前に建築された方は、市の無料診断を活用しましょう。

自宅の家具転倒防止対策やガラスの飛散防止対策を行います！

→ 寝室・居間などの普段過ごす場所や建物の外に避難する経路を中心に実施します。

助成あり 高齢世帯や障害者世帯の方は、市の助成事業を活用しましょう。

被害を抑える 設備や応急 対応のための 資器材を整える

自宅の消火器の使用期限を確認します！

自宅の消火器は、迅速に初期消火ができるような場所に保管します！

水や食料など、各家庭で必要な備蓄を行います！

感震フレーカー（簡易型）を設置します！

安全な 道づくりと 避難場所の 確保

各家庭から避難場所までの安全な避難ルートを確認します！

→ 防災お役立ちマップで避難場所と避難ルートを確認します。

→ 瓦屋根のある道はなるべく避けて計画します。

危険なブロック塀は撤去します！

→ まずは信頼できる業者に見積もりを依頼して、検討します。
相談先がわからない方は、町内会にご相談ください。

防災意識を 高め、 助け合いの 輪を広げる

隣近所に住んでいる方を把握します！

→ 民生委員と協力して見守りが必要な方などの情報を把握します。

地域との関係づくりのため、町会に加入します！

防災訓練に積極的に参加します！

日頃から地域を見回って点検します！

→ 地域を見守る目を増やし、路上駐車や放置自転車も減らしていきます。

* 日頃、地域にいる時間が少ない方は、普段歩かないところを要チェック。

【リフォームするとき】には、

市や業者に相談して、耐震化を検討します！

高齢者にやさしい家づくりをします！

→ バリアフリー化や手すりをつけるなどして、いざというときにも避難しやすくします。

【新築するとき】には、

感震フレーカー（内蔵型）を設置します！

* 分電盤タイプの内蔵型は、電気工事店などに依頼すると購入・設置できます（価格：7～8万円程度（工事費込））。

【新しく塀をつくる時】には、

ブロックは高く積まず、上部は見通しの良いフェンスなどにします！

→ ブロック塀を積む場合は、3段以下に抑えます。

渡田山王町 町内会へのお問い合わせ方法について

* 宣言の内容や町会加入の問い合わせは、
町内会館までご連絡ください。

【渡田山王町町内会館】

電話：044-333-5871



住所：渡田山王町9-5



【防災まちづくりのQ&A】

対策が必要なブロック塀は
どう見分ければいいのか？



点検項目	点検内容	点検結果			
		適合	不適合		
1	塀の高さ	1.2mを超えている	はい	いいえ	
2	鉄筋	透かしブロックが複数ある		はい	いいえ
3	控壁(高さが1.2mを超える場合)	3.4m以内ごとに、控壁がない		はい	いいえ
4	ひび割れ	ひび割れ、亀裂がある	はい	いいえ	
5	傾き、ぐらつき	全体的に傾いている、または人の力で簡単にぐらつく	はい	いいえ	
評価	上記項目のうち、1つでも不適合があれば、ブロック塀の安全対策が必要です。				

安全な塀のつくり方(例)

塀をつくる場合は、軽い素材のフェンスや生垣にすると安全で、雰囲気もやわらかくなります。



透過性のあるものの方が、泥棒や不審者の隠れる場所がないため、防犯性も高まります。



助成あり 生垣づくり助成事業(地域包括ケア推進室 044-200-2380)

公共性があると認められる場所で、生垣を新設する場合又はブロック塀を撤去して生垣を設置する場合に、必要な費用の一部に助成が受けられます。

耐震改修にはどれくらいの費用がかかるの？



改修費用は家の広さや補強箇所数・補強方法によって様々ですが、精密診断・補強計画・工事監理・補強工事の合計費用がおおむね200~450万円で、平均340万円です。助成制度を利用すれば、自己負担はもっと少なく済みます。

⇒ 助成あり 木造住宅の耐震診断・耐震改修工事のお問い合わせ先

川崎市まちづくり局 市街地整備部 防災まちづくり推進課(電話:044-200-3017)
※助成制度の利用には、「昭和56年5月31日以前に建築工事に着手したもの」の他、複数の利用条件があります。

⇒ 助成あり マンションの耐震診断・耐震改修工事のお問い合わせ先

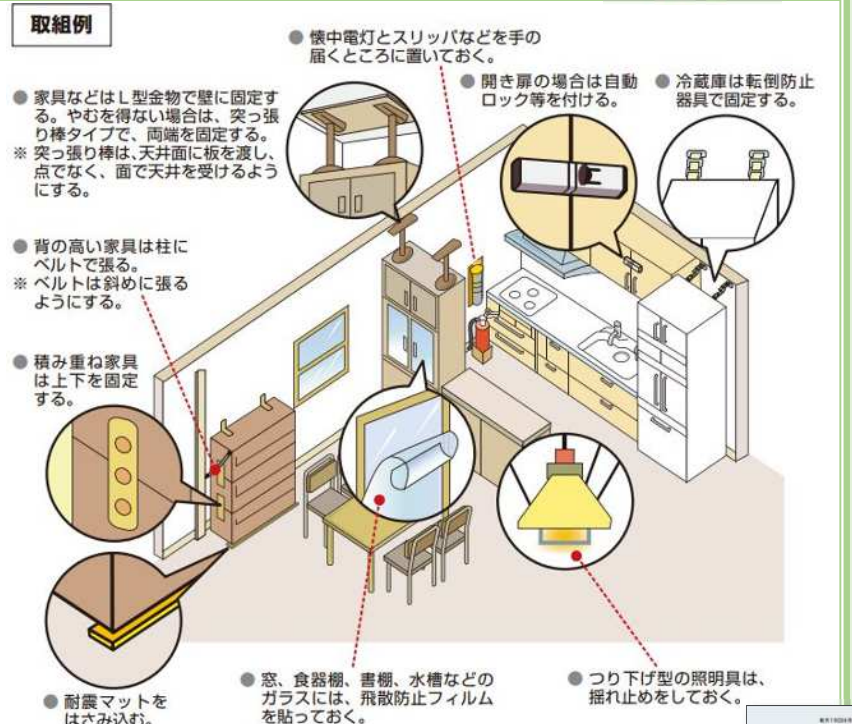
川崎市まちづくり局 市街地整備部 防災まちづくり推進課(電話:044-200-3017)
※助成制度の利用には、「昭和56年5月31日以前に建築確認通知書等の交付を受けていること」の他、複数の利用条件があります。

助成制度には、毎年度予算に応じて利用数に上限があります。制度利用の検討やお問い合わせは、お早めに行ってください。

家具の転倒防止ってどんなことをすればよいの？



- 背の高い家具や重量のある家具は安定した壁等に固定します。
- 移動したり上から落ちてくる可能性のあるものも、ズレ防止や固定などの対策をします。
- 家具の配置は、地震時に入り口や避難経路を塞ぐおそれのないようにすることもポイントです。
- 開き戸や引き出しをロックしたり、窓や開き戸のガラスに飛散防止シートを貼っておくことも効果的です。
- ご自身での対策が難しい場合には、お近くの工務店やハウスメーカーにご相談ください。



助成あり 家具転倒防止金具取付事業(みどり・多摩川協働推進課 044-200-2628)

高齢世帯や障害者世帯等であれば、家具転倒防止金具の取付が無料で受けられます。

それ以外の防災対策については、こちらもご参照ください!

「備える。かわさき」保存版 <https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000015861.html>

